

No.49

2006年12月1日号

各チームの購読料はチーム登録料に含まれています。定価(一部100円)

(社)熊本県サッカー協会だより

発行/社熊本県サッカー協会
〒860-0831
熊本市八王寺町9-60
TEL 096-334-5565
FAX 096-334-5568
発行者/◎広報記録委員会
石丸 捷一

第85回 全国高等学校サッカー選手権大会 熊本県大会 大津高校 8年連続12度目の全国大会出場

第85回全国高等学校サッカー選手権熊本県大会は、10月8日から11月18日にかけて、Kウイング・水前寺競技場のほか8高校のグラウンドを会場として、65校の参加によって行われた。

決勝戦は、8年連続全国大会出場を目指す大津高校と、ノーシードから決勝戦に進出した熊本工業の対戦となった。

雨の中始まった試合は、立ち上がりから互いに激しいアプローチをかけ、スピーディーな展開となった。

自陣ゴール前での高さで上回る熊本工業に対し、大津高校はすべりやすい芝の中でも巧みなパスワークをみせ、大津高校⑩加来の前線への効果的な飛び出しや⑪青山、⑨深草らが積極的なドリブルを仕掛けて優位に試合を進めた。

対する熊本工業も⑭堤を中心に素早いカウンターを見せるが、得点できなかった。

前半終了直前のCKから先制した大津高校は後半開始直後にも追加点を奪い、圧倒的な攻撃力でボールを支配し、勝利を収め、8連覇を達成した。

敗れたものの最後まで粘り強く戦った熊本工業高校の健闘も見事であった。

優勝した大津高校は首都圏を会場とする全国大会に12月30日から出場する。

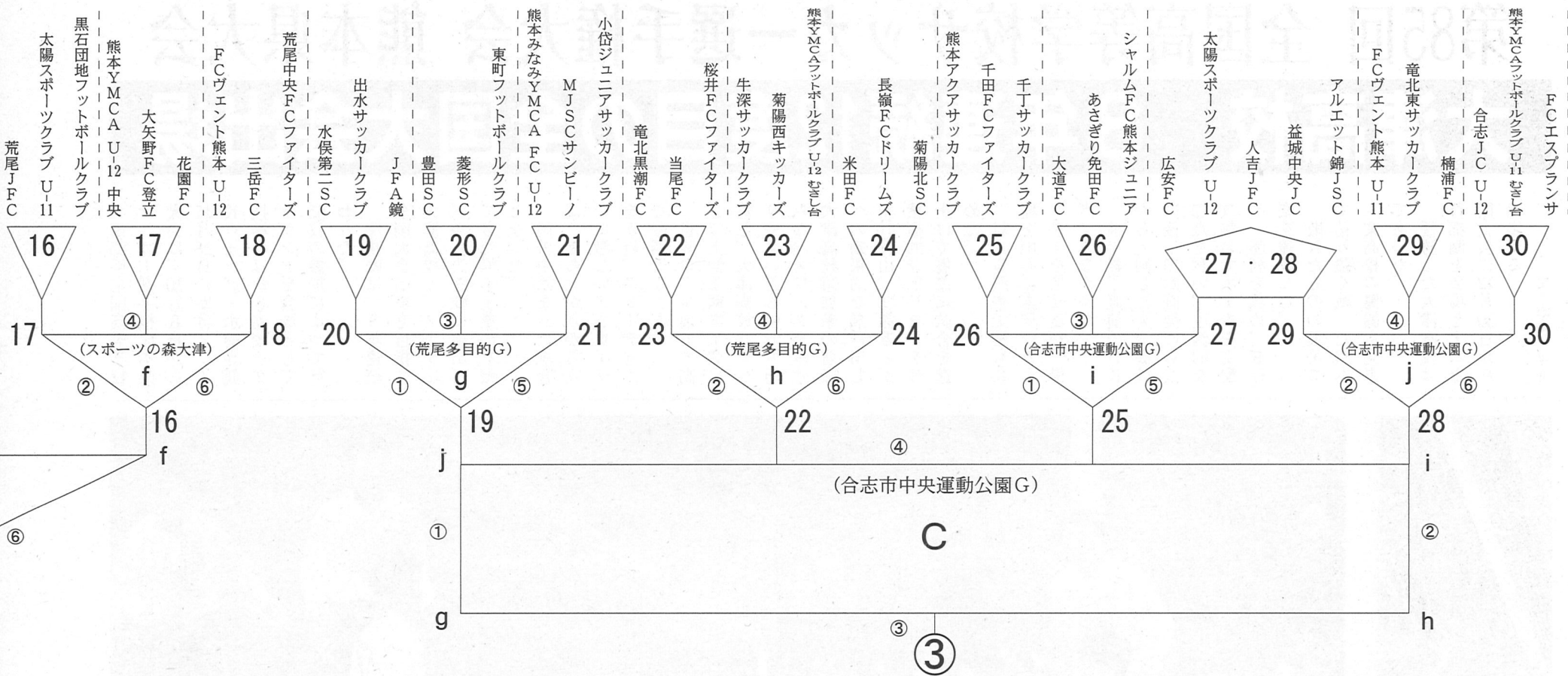
文—中村 洋介



追加点を入れて喜ぶ応援団!! 青は大津、白は熊本工業



熊本日日新聞社 共催 競技大会 熊本アクアSC 初V



熊本アクアSC 初V

第32回熊日学童五輪サッカー競技は11月4日から19日まで県内のべ38会場で行われた。

昨年から本大会はチャンピオンシップの部とフレンドシップの2つに別れて大会が実施されている。

チャンピオンシップの部では各ブロックを勝ち抜いてきたマリーゴールド熊本U-12、熊本ユナイテッドSC U-12、熊本アクアSC、ビックウェーブ益城U-12、シャルムFC熊本の5チームが決勝リーグに駒を進めた。

決勝リーグは11月18日、19日の2日間で行われ、5チームによる総当たり戦が行われた。

優勝の行方は最終試合のマリーゴールド対アクア戦までもつれた。

アクアが2点差をつけて勝てばアクアの優勝、それ以外ならばユナイテッドの優勝が決まる一戦。

この試合2点を取り先行したのはマリーゴールド。

しかし、その後アクアは5点を取り逆転勝ちを収め、優勝をした。

チャンピオンシップの部の結果は次の通り、

優勝 熊本アクアサッカークラブ

準優勝 熊本ユナイテッドSC U-12

3位 シャルムFC熊本

敢闘賞 ビックウェーブ益城U-12

努力賞 マリーゴールド熊本U-12

またフレンドシップの部優勝は次の通り。

Aブロック 西原FC

Bブロック 健軍FC V7

Cブロック 八幡FC

Dブロック 宮地SC

Eブロック 白鳥SC

Fブロック 宮原SC

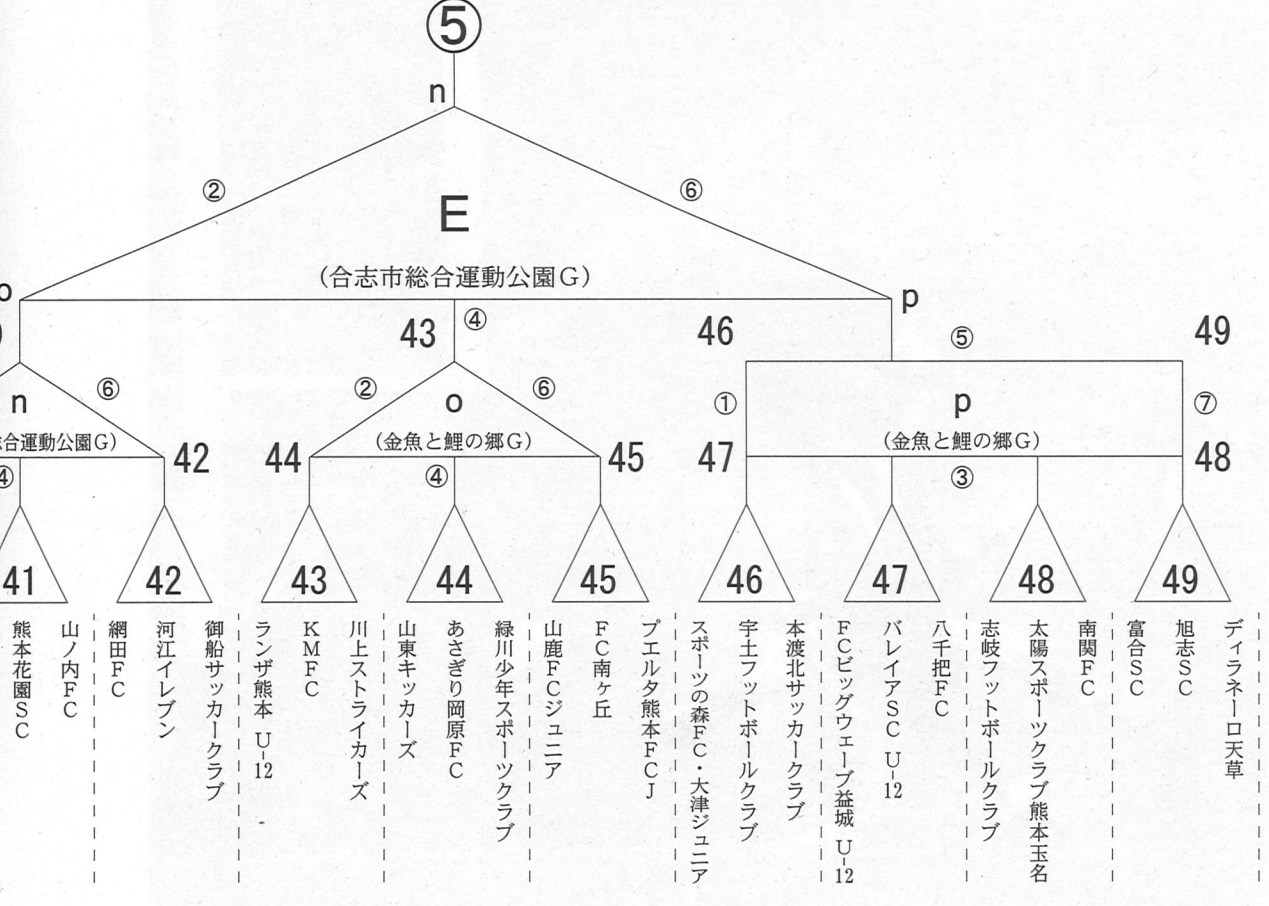
Gブロック 稲田SC

Hブロック FC松高

総合順位

- ① 熊本アクアSC 2勝2分け (得失点による)
- ② 熊本ユナイテッドSC U-12 2勝2分け
- ③ シャルムFC熊本
- ④ ビックウェーブ益城U-12 1勝2敗1分け
- ⑤ マリーゴールド熊本U-12 3敗1分け

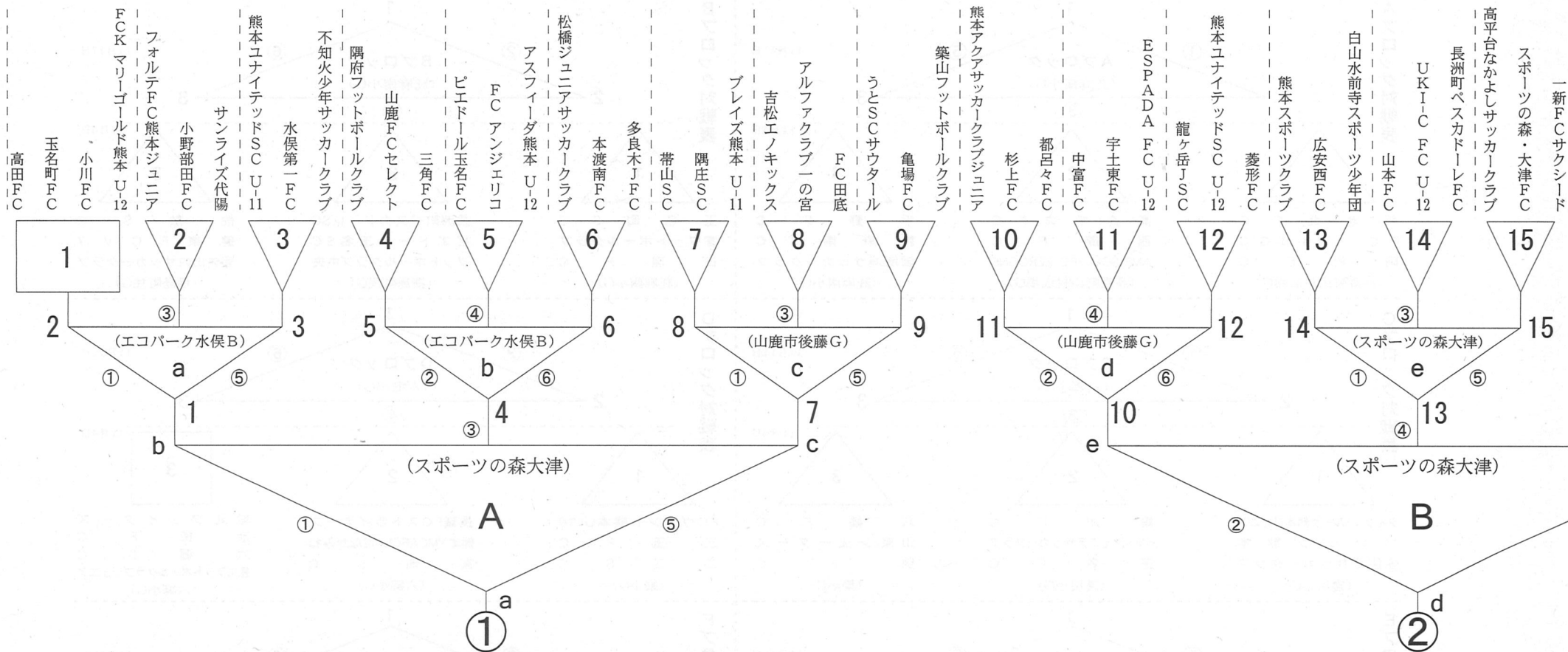
文 林田 晋
写真 石丸 捷一



決勝リーグ戦						
	① マリーゴールド 熊本 U - 12	② 熊本ユニ テッドSC U - 12	③ 熊本アクア S C	④ シャルム FC 熊本	⑤ FCビッグ ウェーブ 益城U-12	順 位
① マリーゴールド 熊本 U - 12		1 $\begin{pmatrix} 0-1 \\ 1-1 \end{pmatrix}$ 2	2 $\begin{pmatrix} 2-1 \\ 0-4 \end{pmatrix}$ 5	1 $\begin{pmatrix} 1-1 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 1	2 $\begin{pmatrix} 0-1 \\ 2-2 \end{pmatrix}$ 3	5
② 熊本ユニ テッドSC U - 12	2 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-1 \end{pmatrix}$ 1		2 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 1-2 \end{pmatrix}$ 2	1 $\begin{pmatrix} 0-1 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 1	4 $\begin{pmatrix} 2-1 \\ 2-1 \end{pmatrix}$ 2	2
③ 熊本アクア S C	5 $\begin{pmatrix} 1-2 \\ 4-0 \end{pmatrix}$ 2	2 $\begin{pmatrix} 0-1 \\ 2-1 \end{pmatrix}$ 2		2 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$ 0	2 $\begin{pmatrix} 1-2 \\ 1-0 \end{pmatrix}$ 2	1
④ シャルム FC 熊本	1 $\begin{pmatrix} 1-1 \\ 0-0 \end{pmatrix}$ 0	1 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-1 \end{pmatrix}$ 1	0 $\begin{pmatrix} 0-0 \\ 0-2 \end{pmatrix}$ 2		3 $\begin{pmatrix} 1-1 \\ 2-1 \end{pmatrix}$ 2	3
⑤ FCビッグ ウェーブ 益城U-12	3 $\begin{pmatrix} 1-0 \\ 2-2 \end{pmatrix}$ 2	2 $\begin{pmatrix} 1-2 \\ 1-2 \end{pmatrix}$ 4	2 $\begin{pmatrix} 2-1 \\ 0-1 \end{pmatrix}$ 2	2 $\begin{pmatrix} 1-1 \\ 1-2 \end{pmatrix}$ 3		4

(社) 熊本県サッカー協会

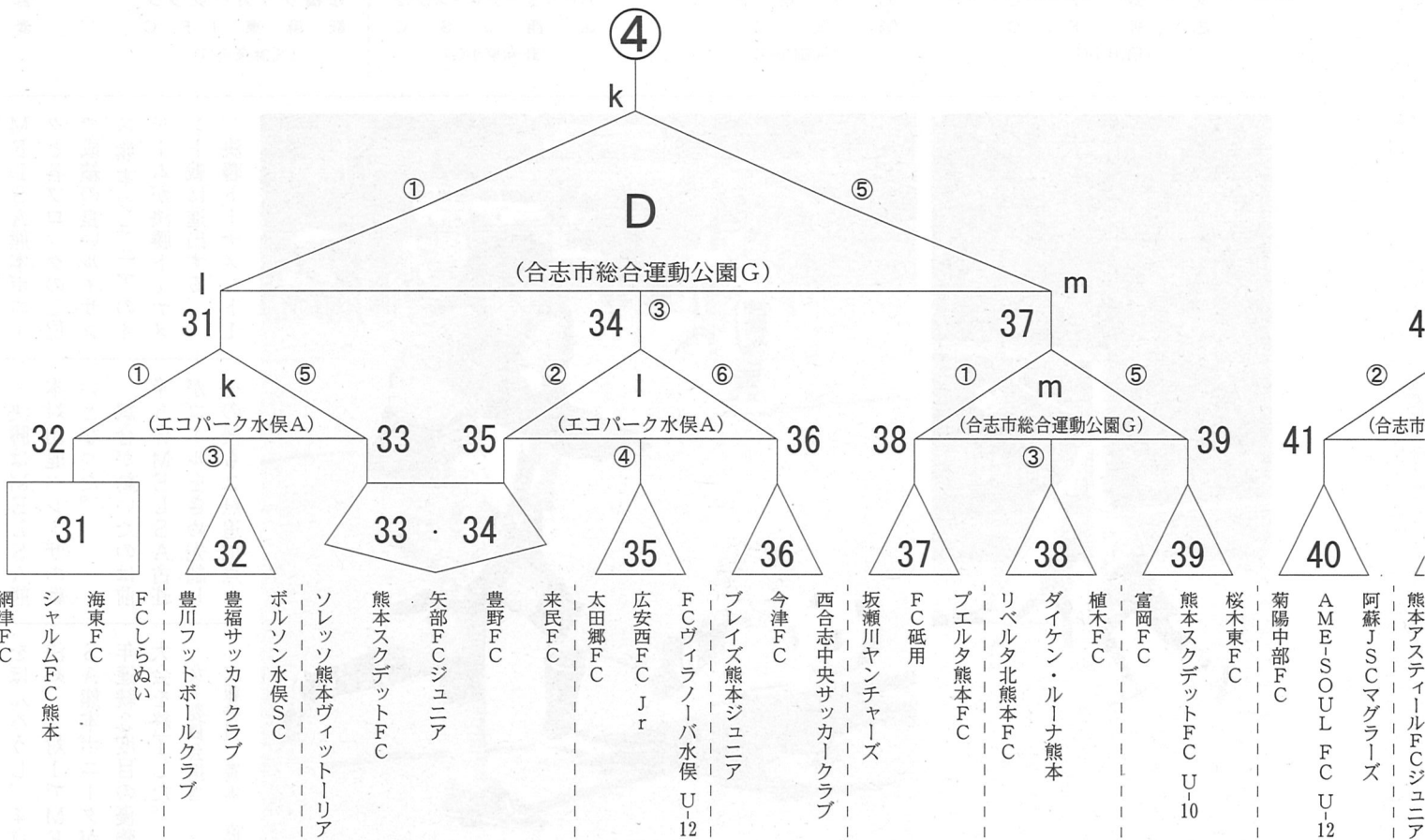
第32回 熊日学童五輪サッカー



試合前のアクア (青)



アクア (青) 対ビッグウェーブ (白)



第32回 熊日学童五輪サッカー競技大会 男子の部

(フレンドシップ)

Aブロック対戦表

11月11日 ① ⑤ 2 3 Aブロック (託麻南小G)		
1	2	3
菊池北FC WINGS 阿村FC (高森町山村広場G)	高森中央FC 西原FC AME-SOUL・FC・ZEROONE (高森町山村広場G)	手野FC 託麻南SC 御所浦サッカークラブ (託麻南小G)

Bブロック対戦表

11月11日 ② ⑥ 2 3 Bブロック (託麻南小G)		
1	2	3
玉名町SC 室フットボールクラブ 田浦FC (託麻南小G)	長洲町ベスカドーレSC ビエドール玉名SC フットボールクラブ中央 (横島町民G)	佐敷SC 健東FCV7 鹿央山内サッカークラブ (横島町民G)

Cブロック対戦表

11月11日 ① ⑤ 2 3 Cブロック (六郷小G)		
1	2	3
タイケン・ルーナ熊本ジュニア ソレックス熊本 佐伊津サッカークラブ (護川小G)	護川FC KMKジュニアサッカークラブ 玉名FC (護川小G)	八幡FC 山東シュートーズ 鍋FC (鍋小G)

Dブロック対戦表

11月11日 ② ⑥ 2 3 Dブロック (六郷小G)		
1	2	3
FCヴェント熊本U-10 三玉FC 二江SC (鍋小G)	長嶺FCストライカーズ 熊本YMCAFCU-12ながみね 宮地SC (六郷小G)	城北ファイターズ 池田FC 六郷SC 豊川フットボールクラブジュニア (六郷小G)

Eブロック対戦表

11月11日 ① ⑤ 2 3 Eブロック (東町小G)		
1	2	3
大津エレメントFC 白鳥サッカークラブ 内田SC (大津小G)	泗水SC 湯浦サッカークラブ 来民SC (大津小G)	青海SC 原FC 託麻東JS (田原小G)

Fブロック対戦表

11月11日 ② ⑥ 2 3 Fブロック (東町小G)		
1	2	3
ブレイズ熊本U-10 宮原サッカークラブ F二見 アリアンサ熊本FC (田原小G)	本町少年フットボールクラブ 山鹿SC 東町サッカークラブ (東町小G)	金剛サッカークラブ 御所浦北サッカークラブ 大浜FC 天草大道FC (東町小G)

Gブロック対戦表

11月11日 ① ⑤ 2 3 Gブロック (稲田小G)		
1	2	3
日奈久サッカークラブ 文政FC 志柿FC (稲田小G)	御領FC 泗水東FC 稲田SC (稲田小G)	植柳SC 八代フューチャーズU-12 山西JS (託麻東小G)

Hブロック対戦表

11月11日 ② ⑥ 2 3 Hブロック (稲田小G)		
1	2	3
木倉キッカーズ 松橋サッカークラブ 託麻東JFC (託麻東小G)	築山SC 合志FCU-11 麦島SC (麦島小G)	F松高 御船ファイターズ 維和FC 八竜FC (麦島小G)



第32回熊日学童五輪サッカー競技大会男子の部は11月3日山鹿カルチャースポーツセンターにて開幕し、3ブロックに分れリンク戦方式で行い、Aブロック山鹿ベレーザ、Bブロック熊本ユナイテッドSC、CブロックMELSA熊本ボニータと各ブロックの二位で成績の良いルネサンス熊本ジュニアの4チームが決勝トーナメント戦に進出する。

決勝トーナメント1回戦、山鹿ベレーザ対ルネサンス熊本ジュニアは0-0でPK戦となり5対4で山鹿ベレーザが決勝戦へ進出。熊本ユナイテッドSC対エーマ対MELSA熊本ボニータは0-4でMELSA熊本ボニータが決勝戦へ進出。決勝はMELSA熊本本対山鹿ベレーザの戦いとなった。

試合が動いたのは前半5分MELSA古荘がゴールをきめ先制し、その後も2点追加点をきめた。

一方山鹿ベレーザも前半17分フリーキックを頭で合せ1点をきめ前半は3-1で折り返した。

後半は、MELSAの多彩なドリブルと山鹿のディフェンス陣をほろろし、4点を決め、7対1でMELSA熊本ボニータが3年連続3度目の優勝大会を終了した。

女子委員会担当
広報委員 荒木 直子

第32回 熊日学童五輪サッカー 女子の部

MELSA熊本FCボニータV3

第18回全国レディー
スサッカー大会は11月
17日～19日まで静岡県
清水ナショナルトレー
ニングセンター（Ｊ－
ＳＴＥＰ）及び清水蛇
塚グラウンドにて行わ
れた。

九州第一代表として
出場したスポーツの
森・大津マリノスは、
予選Ｂグループのアジ
ユール兵庫（関西第一
代表）、北坂戸レディ
ス（関東第三代表）、

清水ママ（開催地域代
表）の強豪が顔を連ね
る厳しいグループでの
戦いとなった。

予選は２勝２敗とな
り、三位グループの戦
と進んだ。

順位決定トーナメン
トでは、北信越代表Ｆ
Ｃ・ＴＯＮノールドレ
ディースに２－１と苦
戦しながらも勝利し、
九十位決定戦へと進
んだ。

相手は北海道代表、

ＨＡＢＡＴＡＫＥと対
戦し、前後半０－０で
延長へともつれるも決
まらずＰＫ戦となり２
－４で敗れた。

２勝２敗１分けて全
国十位の結果となった。
尚、レディースエイ
ト（45歳以上）オーブ
ン大会の部に熊本県勢
のひごたいクラブも出
場した。

広報委員 荒木 直子

第12回九州シニアサッカー大会は11月4日、5日福岡市の雁ノ巣サッカー場と香椎フットボールセンターで行われる。

熊本県からは昨年の熊本県シニアサッカーリーグ一位の熊本ベアーズSCと二位のランザ熊本シニアの2チームが参加したが共に予選リーグで二位になり決勝トーナメントには出場することが出来なく来年度はシード権も剥奪された。

尚、優勝したのは昨年にも優勝した福岡の三宅シニアで、4度目の優勝を飾った。

ランザ熊本シニアはBグループに入り一回戦は鹿児島四十雀FCと対戦したが0対0で引分けに終る。

二回戦の聖陵クラブとの対戦は前半は0対0で折り返し、後半は2対2でまたもや引分けに終った。

第三回戦は別府始新蹴サッカー倶楽部と対戦するも前半には3対0、後半は1点を取られ0対1となり計3対1で勝利し1勝2分けの勝点5となるが、鹿児島の方が勝点7で一位と明日の決勝トーナメントに進んだ。一方熊本ベアーズは、沖縄の前原壮年と対戦し2対1で勝利する。

二回戦は蒲生サッカークラブと対戦し1対0で勝利した。

三回戦は肥前FCと対戦するも0対2で敗れ一位と二位は得失点差で二位に終った。



熊本ベアーズ（白）対沖縄前原壮年クラブ（青）



沖縄前原壮年クラブ（青）対熊本ベアーズ（白）



熊本ベアーズ（白）対肥前FCシニア



熊本ベアーズ（白）対沖縄前原壮年クラブ（青）

<下 線 → 追加 波 線 → 修正>

ユニフォーム規程

第1条 [目的]

本規程は、財団法人日本サッカー協会（以下《本協会》という）の加盟登録団体（以下「チーム」という）のユニフォームに関する事項について定める。

第2条 [ユニフォーム]

本規程においてユニフォームとは、シャツ、ショーツ、およびストッキングの3点を総称したものをいう。ただし、本規程第6条においては上記に加えてキャップ・GKグローブも含むものとする。

第3条 [ユニフォームの登録] 〈削 除〉

第4条 [着用義務]

チームは、公式競技会の試合においては、該当公式競技会に登録したユニフォームを着用しなければならない。

第5条 [ユニフォームの色彩]

- ① チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- ② フィールドプレーヤーのユニフォーム前面と背面の色彩は同じであるものとする。
- ③ チームは、公式競技会の試合会場に正・副2組のユニフォームを持参しなければならない。
- ④ 主審が、対戦するチームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）の色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、主審は、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- ⑤ 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツおよびストッキングのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。

第6条 [ユニフォームへの表示]

ユニフォームにはチーム名・選手番号を必ず表示するものとする。その他に表示できるものはホームタウン名・選手名・広告・製造メーカー名（ロゴ）とし、それぞれの表示できる場所およびサイズは、次のとおりとする。

- ① チーム名
 - (1) チームエンブレム シャツの左胸 100㎢を超えないサイズ
 - (2) チーム名をエンブレム以外で表示する場合はシャツ前面または左胸 300㎢を超えないサイズ
 - (3) チームエンブレムはショーツ・ストッキングに表示することができる。

ショーツ	左右どちらか一ヶ所	50㎢を超えないサイズ
ストッキング	左右一ヶ所づつ	50㎢以下／一ヶ所
- ② 選手番号
 - (1) 選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縞柄の場合には台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - (2) 選手番号を付する場所およびサイズは、次の通りとする。

シャツ背中	高さ25cm－35cm
シャツ前面	右側、左側または中央に、高さ10cm－15cm
ショーツに選手番号を表示する場合は、前面の右側又は左側に、高さ	10cm－15cm
 - (3) 番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。登録選手が100名以上の場合に限り、100以上の番号を認める。ただし、公式競技会に登録する際の選手番号については、その競技会規定に定めるところに従うものとする。
 - (4) 第4種のチームや身長150cm以下の選手等が着用する小さいユニフォームの場合は、サイズを適宜縮小することができる。
- ③ ホームタウン（都道府県名）または活動地域名
シャツの袖 50㎢を超えないサイズ または第1項(1)(2)の周辺に(3)と同じサイズ
- ④ 選手名
シャツの背中 選手番号の上 高さ7.5cmを超えないサイズ
ただし、広告掲示がある場合のみ、選手番号の下に表示することを認める。
- ⑤ 広告
広告を表示する場合は、本規程第7条から第9条による。
- ⑥ 製造メーカー名、ロゴ

シャツ	胸 一ヶ所	20㎢以下
ショーツ	左右どちらか一ヶ所	20㎢以下
ストッキング	左右一ヶ所づつ	20㎢以下／一ヶ所
	左右二ヶ所づつ	10㎢以下／一ヶ所
キャップ	一ヶ所	20㎢以下
GKグローブ	一ヶ所づつ	各20㎢以下
帯状の場合	シャツ（肩・脇・袖）	巾10cm以下
	ショーツ（腰脇・裾）	巾10cm以下
	ストッキング	巾5cm以下

⑦ その他

- (1) 本協会または公式競技会主催者が指定する大会マーク及びキャンペーンマーク他広告以外のものを表示する場合は、原則として本規程第8条第1項(4)のサイズを適用するものとする。
- (2) チームは、各国代表チーム及びプロクラブチームのレプリカを着用して公式競技会に出場することはできない。

第7条 [広告の表示（1）－承認の手続き]

- ① ユニフォームに第三者のための広告表示を希望するチームは、スポンサーの名称、業種および広告の内容について、事前に当該チームが所属する都道府県協会に申請し、その承認を受けたのち、本協会に申請し承認を得なければならない。
- ② 前項の申請は、本協会所定の申請書に、体裁、デザイン、ロゴ、色彩等の必要事項を記入の上、当該チームが所属する都道府県協会を経由して本協会に提出しなければならない。
- ③ 前2項に基づき承認されたユニフォームの広告は、本協会の承認の日から当該登録年度の終了日まで有効とする。

第8条 [広告の表示（2）－広告の条件]

- ① 前条に基づく広告は、次の条件によるものとする。
 - (1) 広告は、極端にユニフォームから突出してはならず、危険性のない適当な素材でなければならない。
 - (2) 広告の表示は、ユニフォームのシャツに3か所まで、およびショーツに1か所とする。
 - (3) 広告表示箇所1か所について広告は1社のみとする。
 - (4) 広告表示箇所およびサイズは次のとおりとする。

シャツ	前 面：選手番号の上部に300㎢を超えないサイズ
	背 中：選手番号の上部または下部に200㎢を超えないサイズ
	左 袖：50㎢を超えないサイズ
ショーツ	前面左：80㎢を超えないサイズ

第9条 [広告の表示（3）－制限および停止]

- ① 本協会または公式競技会主催者は、競技会規定等により、チームの広告表示を制限することができる。
- ② 表示される広告は公序良俗に反するものであってはならず、表示された広告が不適当であると本協会または公式競技会主催者が判断した場合には、チームに対し広告表示を停止させることができる。
- ③ 表示された広告に対して広告掲出料の支払いが発生した場合には、チームは本協会または公式競技会主催者の指示に従わなければならない。

第10条 [適用除外]

社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）のユニフォームについては、本規程を適用しない。

第11条 [その他]

本規程に定めがない事項については、チームは本協会または公式競技会主催者の判断に従うものとする。

第12条 [改 正]

本規程の改正は、理事会の決議に基づきこれを行う。

第13条 [施 行]

本規程は、平成9年4月1日から施行する。
本規程は、平成13年4月1日から施行する。
本規程は、平成16年1月1日から施行する。
本規程は、平成19年4月1日から施行する。

平成18年度(社)熊本県サッカー協会表彰式

氏	氏	氏	氏	た。	方	記	労	カ	熊	が	会	表	行	1	交	の
樋口陽一	森川清光	松崎正孝	北岡長生	が	が	の	者	ー	本	本	長	主	わ	ホ	通	祝
				選	選	4	に	協	県	年	の	催	れ	テ	セ	日
				ば	ば	名	は	会	サ	度	の	を	た。	ル	ン	本
				れ	れ	の	左	功	ッ			代		で	タ	

